

ダム湖のある風景

取材・文：中村真由美 中村元美 堀口裕世
撮影：梅川紀彦 尾之内孝昭
ただし※印の写真は取材先から提供していただきました

周りの風景の美しさと構造物が持つ迫力が、ダム湖の魅力です。

ダムは自然に囲まれた山奥がおもな建設場所。岩盤や地質の調査、地域との交渉も必要で、着工に至るまでも時間が費やされます。そんなことを思い描くだけで、ロマンを感じます。古くは田畑に水を引くためにダムが造られましたが、現在ではさまざまな働きを持つ多目的ダムが多く、洪水調節や水の確保、水力発電、そして環境保護といった役割があります。日本のダムは建設中も含めるとおよそ2700基。その数からも、人々の暮らしにいかに大切な役割を果たしているかがわかります。

三重県内のダムの多くは堤防が通行可能で、雄大な景色

おもなダムの種類

重力式コンクリートダム

ダム自体のコンクリートの重さでダムに貯めた水をささえます。

日本で最も多く見られるタイプです。

コンクリート



アーチ式コンクリートダム

両岸で水圧をささえるアーチ型のコンクリートダムです。重

力式より少量のコンクリートで造れますが、両岸が固い岩でできている所でないとは造れません。

コンクリート



ロックフィルダム

コア(細かめの土)、フィルター(粗めの石)、ロック(大きい岩)の土や岩を積みあげて造るダム

です。コアは水をささえるためのものです。

コア フィルター ロック



資料提供：青蓮寺ダム管理所

取材・撮影は12月中旬～1月上旬に行いました

●各施設に関しては、休館日・開館時間・料金・受け入れ方法・人数などに違いがあり、状況に応じて休館・閉館している場合があります。事前に必ずご確認ください。

※一般財団法人日本ダム協会
を眺めて散策することができます。公園を利用したり、見学会は学習の場にもなり、地域に親しまれ、構造データやこだわりを記載したダムカードも配布されています。アクセスが便利などところばかりではありませんが、絶景と感動が待っています。そんな魅力いっぱいダムを訪れてみてください。



『君ヶ野ダム』全景(津市美杉町)※

野鳥のさえずりと子どもたちの歓声が響く 伊坂ダム

〔四日市市伊坂町〕



「伊坂ダム」の湖畔に沿って整備された1周約3.6キロのダム周回コースは、ゆつくりと散策して1時間程度の距離。ダム湖越しに望む鈴鹿の山並みの美し

※約100工場に日量約50トンの工業用水を供給※



なだらかに傾斜するダムの堤高は34.5メートル、堤長は775メートル



※春には、湖畔全体がサクラ色に染まる※

ようですが、実は地下をパイプが通り、各工場へと水が運ばれているのです。

同ダム建造後、ダム湖周辺は市民をはじめとした周辺地域の人々の憩いの場として親しまれています。早朝から夕刻まで、ウォーキングやジョギングに汗を流す人々がいる一方、特徴といえるのが、カラフルな自転車に乗り、喜々として走る子どもたちの姿が見られること。ログハウス風の「伊坂ダムサイクルパーク管理事務所」には、16インチの子ども用自転車から26インチの大人用

自転車に加えて、2人乗りのタンデム自転車、練習用自転車などが136台用意され、休日を中心に多くの家族連れで賑わいます。

「女の子は色や柄で、男の子は機能で選ぶ傾向がありますね」と教えてくれるのは、同管理事務所の安田 みゆきさん。職員の皆さんが日々整備点検を行っているため、どの自転車も新品同様の輝きを放っていました。

また「サイクル広場」では、38台の変わり種自転車や21台のモトクロスバイクな



整然と並べられたカラフルな自転車



変わり種自転車で遊ぶ中学生



※ 青空を元気に泳ぐこいのぼり ※



※ 「八郷フェスタ」 ※

どもあります。特にパトカーやクラシックカーなどを模した変わり種自転車は、1人乗りから最大6人乗りまであり、家族や友人たちと一緒に遊べると好評。約300メートルのコース上を子どもたちの笑い声が響きます。

「例年だと、5月には『親子で作ろうこいのぼり』、10月には『八郷フェスタ』などの各イベントを、地元の『八郷地区連合自治会』が主催し、地域の皆さんの協力のもと開催されていて、風物詩となっています」と安田さん。広場内の花壇に

季節の花々を植える活動を行う、NPO法人「やさ」と伊坂・山村ダム公園化推進協議会」の話なども聞いてみると、同ダムが地域の人々にとっても大切にされていることが伝わりました。

こうして今日もまた、「伊坂ダム」湖畔には子どもたちの歓声が響き渡ることでしよう。

お問い合わせ

「伊坂ダムサイクルパーク管理事務所」
(金曜日定休)

TEL 059-364-1546

雲出川流域を守るダム湖畔を歩けば、
ストレス解消

君ヶ野ダム

【津市美杉町】



総貯水容量2330万立方メートルを誇る

JR名松線「伊勢竹原」駅から歩くこと約20分、見上げるほど高く巨大なコンクリートの壁が姿を現します。「君ヶ野ダム」です。同ダムの歴史は、昭和28（1953）年や同34（1959）年の台風によって雲出川が氾濫し、甚大な被害が出たことによって始まりました。雲出川の支川である八手俣川にダムを造ること、洪水から流域の人々を守ると同時に

4つの役割で暮らしを守る

国土交通省直轄ダム

はちす

蓮ダム

【松阪市飯高町】



水面に映る橋や山も美しい「奥香肌湖」

高見山に発して、西から東へ松阪市を横切るように流れる櫛田川。「蓮ダム」のある蓮川は、この櫛田川に上流の高見山地で注ぎ込む支川です。「蓮ダム」は、堤高78メートル、長さ280メートルという巨大な重力式コンクリートダム。直線のダムに堰き止められ、深い谷に湛えられた「奥香肌湖」



重力式コンクリートダムの
堤高は73メートル※

に、工業用水や農業用水が枯渇した場合の補給もできるようになったのです。ダムの管理を担う三重県津建設事務所君ヶ野ダム管理室では、気象状況やダムの水位のほか、下流の水量を常に把握しながら、状況に応じて放流を行っています。幸いにして、ダム頂部にあるゲートを使って緊急放流を行うような洪水は、昭和47（1972）年の竣工以来、一度もないとのこと。同室では、ダムの役割をさらに知ってもらうため、状況に応じてダム見学（要予約）を実施。地域の人々や小学生たちに、ダムの構造を間近に見られる貴重な体験を提供しています。また、来訪者に配布するダムカードが人気で、例年全国各地から平均して2000人が訪れると伺いました。



は、ダムから上流へ約1キロ地点では蓮川とその支川青田川に分かれ、大きさは1.2平方キロメートルあります。周辺には管理所や、遠くの間々まで見渡せる展望台など、関連施設があります。

ここは、県内で唯一、国土交通省が管理する多目的ダムで、防災、流水の正常な機能維持、水道用水、発電と4つの役割を果たして人々の生活を守っています。櫛田川から取水した水は、浄化後、松阪市や多気町以外にも、遠くは志摩市や鳥羽市の離島にまで供給されているそうです。

国土交通省 中部地方整備局 蓮ダム管理所 専門官の瀬古信広さんのご案内で、ダムにあるエレベーターで内部へ。秘密基地のような監査廊や観測室を見学して、一番下で外へ出ると、そこは防災時にダムから下流へ放流される、主放

治水・利水と2つの役割を担う同ダムの湖畔周囲は、春には約1300本のサクラが咲き競い、名所として知られます。また、平成20（2008）年に美杉町が「森林セラピー基地」に認定されると、湖畔道路がセラピーロードの一つとなり、新たな役割・魅力が加わりました。森林セラピーとは、医学的な証拠に裏付けされた森林浴のことで、ストレス解消・健康増進効果があるとされます。「レークサイド君ヶ野」を拠点とした約10.7キロメートルのコースを歩けば、日々の疲れも吹き飛ばすことでしょう。



春の湖畔の様子※

お問い合わせ

三重県津建設事務所 君ヶ野ダム管理室
TEL 059-262-3248
【森林セラピーに関するお問い合わせ】
津市美杉総合支所 地域振興課
TEL 059-272-8082

※印の写真は取材先から提供していただきました



ダムの下流側

流設備のすぐそば。間近に見上げるダムの大きさは圧倒的で、遠くからは小さく見えた放流口も、近寄れば巨大です。「放流時は迫力がありますよ」と瀬古さん。事前に申し込めば、ダム内部や管理所などの見学も可能とのこと。下流にある副ダムや発電所の付近などは、サクラや紅葉の美しい樹木が植えられて四季を通じて楽しめるよう整備されています。ダム湖をぐるりと回る道は、トンネルあり、橋ありと変化に富んだドライブルート。ダム湖の畔にある「津本公園」にもサクラがいっぱいです。



春の「津本公園」※

お問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 蓮ダム管理所
TEL 0598-45-0371

※印の写真は取材先から提供していただきました

地域の発展とともに歴史を重ねた半世紀 青蓮寺ダム 〔名張市〕



アーチ式コンクリートダム。「京セラドーム大阪」23個分の水が貯まる※



展望台からダムの高さを一望※

構が管理を開始しました。名張市を含む下流域の洪水被害を軽減することに貢献し、一年を通じて水道用水や農業用水に必要な水を補給することで、ダム下流域の生活の基盤を支えています。名張市や遠く大阪市や尼崎市など阪神地区の水道水源にもなっています。



建設中の様子※

名張市街地からわずか5分ほどの距離にある「青蓮寺ダム」は、奇勝香落溪^{かおちだに}への玄関口でもあります。ダム湖上流へ進み、トンネルを抜けると、青蓮寺川に沿って斧で断ち割ったような柱状節理の岩壁が8キロ余り続き、春には岩肌にヤマブキやツツジ、秋は燃えた

ような紅葉に彩られます。「青蓮寺ダム」は伊勢湾台風とその後

の洪水が契機となって計画され、昭和45(1970)年に独立行政法人水資源機構

また湖面や湖畔が整備され、水源地域を中心にした名張市の活性化に役立てようと、観光資源としての発信も盛んです。周辺にはテニスコートや親水公園、また果樹園が広がり、「青蓮寺湖観光村」は、家族連れに人気のスポット。1月から5月にイチゴ狩り、7月から10月にはブドウ狩りが楽しめます。

展望台からは美しい弧を描くアーチ式のダムの全貌が眼下に開け、82メートルの高さを一望できます。ダム湖に架

ダムの管理開始から50周年を記念した「青蓮寺ダム」の写真集には、ダム湖周辺を彩るサクラ、山の緑が潤う夏、紅葉に染まる秋、雪が積もった銀世界と四季折々の美しい自然が綴られています。

中で新しい価値が生まれています。

「50周年のときにはそれを記念したダムカードをつくりましたが、ダム愛好家の人たちから注目され、全国からお越しいただきました。また木津川水系の5基のダム周辺では、ダムカレーが食べられます」と同管理所所長代理の鍵田和彦さん。それぞれに特徴あるカレーを提供し、「青蓮寺ダム」湖畔で営業する「yuno cafe」^{カフェ}のカレーも、アイデア満載の一品です。青い皿の上にアーチ型の白いご飯、貯水池を表すカレーはスパイシーで、ダイコンの桜漬けと野菜のマリネがアクセント。これで青

蓮寺湖を彩るサクラと紅葉を表現しています。

ダムの役割や水の大切さを知ること

山々に囲まれた青い湖面は、季節毎に変化をみせ、その風景が人々を魅了しています。

お問い合わせ

青蓮寺ダム管理所

TEL 0595-163-1289



最もダム湖に近づく親水公園



「青蓮寺湖観光村」のゲート



「名張青蓮寺湖駅伝競走大会」※



「yuno cafe」のダムカレー※



夏休み恒例の施設見学会※

ボート関係者や鉄道ファンに知られる
赤いゲートのダム

三瀬谷ダム 奥伊勢湖

【多気郡大台町】



日本有数の清流・宮川の中流にある「三瀬谷ダム」。そのダム湖は「奥伊勢湖」の名で親しまれ、県下唯一の公認漕艇場としてさまざまな大会が催されています。10月に開催予定の「第76回国民体育

重力式コンクリートダム※

には、体育館やトレーニングルームがあり、広い敷地に芝生広場も整備され、町民も気軽に利用できる場所。建物を管理する大台町教育委員会事務局の山下晃さんに利用状況を伺いました。「大台

町の昇学園高校をはじめ、県内4つの高校にボート部があり、放課後や土日、夏休みなど、ここに集まって練習に励んでいます。貸し出しボートがあるので、遠方からでもボート部OBの人たちが来てくれています」と、大台町は「ボートのまち」として認知され、自然豊かな環境も魅力となっているようです。

前回の「三重国体」のアルバムを見せただけでした。開会式や湖で繰り上げられる熱戦、沿岸の観覧者、そして当時の皇太子殿下・妃殿下（現上皇陛下・上皇后陛下）が来町され、J・R紀勢本線「三瀬谷」駅から歓迎する様子など、写真から盛況ぶりがうかがえます。「町には宿泊施設があまりなかったので、選手の宿泊先として一般家庭で受け入れを行い、そういったところは家族ぐるみで選手の声援に



昭和50(1975)年の「三重国体」の様子※

駆けつけ、いまだに交流があるという話も聞きますね」と山下さん。地域全体で競技を盛り上げました。

国体の翌年から毎年続く夏の定番イベントがあります。8月末の「大台町水上カーニバル」です。普段ボートに馴染みのない町民も楽しめる競技で、県内外から多くのクルーが集まります。

「三瀬谷ダム」の隣には中部電力の建物があります。平成27(2015)年に、ダムを開発した三重県企業庁から譲り受け、「三重水力センター」として新しく生まれ変わり、運転保守管理を担っています。同センターの黄濃秀明さんにダ

ムの特徴を教えてくださいました。「ダムの下に高さ3メートルほどのブロックが並んでいます。これは水叩き部に当たる水の勢いを抑える減勢のための設備。この構造はほかであり見ることとはありません。また発電のために落差や水量に応じた水車を利用するのですが、ここでは「カプラン水車」が設置され、高さはないけれども水量の多い宮川ならではの特徵といえます。これも数が少ない珍しいものですね」。それぞれの場所ので特徴を生かした工夫がなされ、効率的な発電が行われています。

お問い合わせ
「大台町B&G海洋センター」
(大台町教育委員会)
TEL 0598-82-11363
中部電力再生可能エネルギーカンパニー
三重水力センター
TEL 0598-82-1180



国体競技では1000メートルを競う※



水上散歩を楽しむSUPが人気※



「大台町B&G海洋センター」の艇庫



「大台町水上カーニバル」の様子※



ダム下流の鉄橋も見所

30メートルの高さを実感する
地域密着型のダム

滝川ダム

【伊賀市高山】



重力式コンクリートダム

伊賀コリドールロードで山間部を走ると、「滝川ダム」の道路案内板が見えてきます。三重県初の生活貯水池建設事業に採択され、平成12(2000)年に完成した比較的新しいダムで、駐車場から周囲する道が整備され、人里離れた知る人ぞ知る散策ゾーンになっています。通行する車も少なく、騒音のない自然の中、気軽にウォーキングが楽しめます。ま

たダムを下から望む展望エリアは、密かな花見スポット。サクラとツツジの木に囲まれた東屋では、ピクニックもいでしょう。

ダム下流に高山、比自岐^{ひじき}という集落があります。伊賀米を生産するのだから農村地帯ですが、ダムができる前は井戸水や谷水が頼り。渇水時にはほかからもらい水をするなど、水不足の悩みもありました。ダム建設の大きなきっかけとなったのは、昭和57(1982)年の台風で被害を受けたこと。川と集落が近いので河川改修が難しく、国のダム建設事業に手を上げました。「局地的な地区の治水、利水を対策につくられた地域密着型のダムなんです」と、ダムを管理する三重県伊賀建設事務所の小久保和真さん。比自岐川沿川地域の



堤頂(ていちょう)からダム湖を眺める

用の取水の安定化が図られています。

「放流は自然

調節方式で、管を開けたりするのではなく、水が上がってきたら自然と流れていく仕組みです。普段は無人ですが、毎日パトロールに出向き、週に一度は内部の通路を点検しています。小さなダムですのエレベーターがありません。建物の移動は徒歩です」と小久保さん。小さいといえども堤高は約30メートルで、展望エリアでは堤体直下に進むことができ、その高さを間近に体感できます。構造物に直接触れることができる、小規模ならではの魅力です。



建設完成直後の全景※

お問い合わせ

三重県伊賀建設事務所 総務・管理室
TEL 0595-24-8208

※印の写真は取材先から提供していただきました

サクラの里の美しい溪谷が秘める
役師の活躍

七色ダム

【熊野市神川町】



重力式コンクリートアーチダム

流しは命懸けの仕事。時には命を落とす役師もいて、その供養のための磨屋^{まがや}仏が、ダム下の河原に残されています。

ダムを訪れるなら断然春です。「川沿いに集落までサクラが植わり、長年、郷土をPRしようと住民が中心となって桜まつりも開催していました。今も夜間のライトアップは続けられています」と、熊野市観光交流スポーツ課の大西翼^{つばさ}さん。神上川^{かみかみ}を1500本のソメイヨシノが彩ります。また神川町は日本で唯一の那智黒石の産地として知られ、碁石や硯が加工販売され、日帰り入浴の「神川温泉」(火・木・土曜営業)もあり、山間の里をぶらりと散策し、のんびり過ごすのもいいでしょう。



神上川沿いを彩るサクラ※



「碁石の里 神川温泉」

神川町から北山川下流に向かう県道34号に、巨岩が林立し、清冽な水をたたえる「七色峽」があります。季節によって川の流れが7色に変化するといわれる神秘的な場所、春にはイワツツジやイワチドリが咲き乱れ、峽谷を色鮮やかに彩ります。

「七色ダム」は発電を目的として昭和40(1965)年に竣工し、七色発電所が運転を開始しました。発電のほか、上流の池原発電所における揚水発電の下池としての役割も担っています。重力式アーチダムのシンメトリな構造は、ダム湖側からの眺め、堤頂^{ていちょう}の国道169号から見る下流、県道34号より見るダム正面と、どれも見応えがあります。周囲と一体化したまとまりのある景観が、ダムの魅力を高めています。



春には新緑を映す「七色峽」※

お問い合わせ

熊野市観光協会
TEL 0597-89-0100

※印の写真は取材先から提供していただきました